



防災カフェ ☕

— 春なのに・・・ —

3月は、日平均気温がプラスになってきて春の訪れが身近に感じられるようになり、屋外での活動も徐々に増えてくる時期ですが、まだまだ積雪量も多く、なだれや落雪などの事故に注意が必要な時期でもあります。

なだれは、斜面に積もった雪が滑り落ちる現象で、古い雪の上に新たに降り積もった雪が滑り落ちる「表層なだれ」と、すべての積雪が滑り落ちる「全層なだれ」があります。どちらも木々をなぎ倒したり、建物を破壊してしまうほどの力をもっており、その速さは、表層なだれで新幹線と同じくらい、全層なだれで自動車と同じくらいになりますので、目の前でなだれが発生すると逃げるのはとても難しくなります。気象台からなだれ注意報が発表されたときには、斜面近くには近づかないようにしましょう。

建物周辺においては、屋根から落ちる雪や氷、つららなどに十分な注意が必要です。最悪、ケガや死亡してしまうこともありますので、軒先を通る場合は落雪等に十分気をつけるとともに、子どもたちを軒先で遊ばせないようにしましょう。

ほかにも、この時期に気をつけてほしい気象現象として黄砂があげられます。黄砂とは、東アジアの砂漠域などで強風によって巻き上げられた砂やチリが上空の風に乗って運ばれ、広い範囲に浮遊しつつ降下する現象で、3月から5月が飛来のピークになります。黄砂が飛来すると、空が少し黄色くかすんで見え、洗濯物や車が汚れるなどの影響があるほか、人によっては咳やくしゃみなどのアレルギー反応が出るといった健康被害も報告されています。黄砂粒子の吸入予防にはマスク着用も効果的です。

なお、黄砂の実況や3日先までの発生・飛来の状況などが、環境省と気象庁が共同で開設している「黄砂情報提供ホームページ」で提供されていますのでご活用ください。

○黄砂情報提供ホームページ（環境省・気象庁）



●詳細 危機対策係 ☎27-7058

スマートフォンから自動で発信する機能について

スマートフォン等から自動で119番を発信する機能について近年発売されたスマートフォンには、車が激しい衝撃を受けた場合に車内のスマートフォンが衝突事故を検出する機能が搭載され、自動で119番に発信するものがあります。

自動で119番に発信する機能が作動したときは？

車の激しい事故が起きたとき以外にも、状況によっては、衝撃の検出によって119番に発信される場合があります。

救急車・消防車が必要なのに119番が発信された場合、電話を切らずに「間違えた」とお伝えください。

また、消防から折り返し電話をすることがありますので、必ず電話に出て救急車・消防車が必要かを伝えて下さい。



◎スキー場で転倒した



◎スマートフォンを地面に落とした
…など

●詳細 消防署警防係 ☎22-3106